

施策3-6-1 高齢者が自分らしく暮らすための支援

担当課 高齢者支援課

施策が実現できたときの状態

- 各地域で「いきいきサロン」が開かれ、高齢者や地域の方々の集いと交流により、閉じこもりや心身機能低下の予防が図られ、地域で高齢者を支える意識が醸成されています。
- 高齢者は、介護予防事業に参加することにより、要支援・要介護状態への移行を予防し、住み慣れた地域で自立した生活を送っています。
- 地域包括支援センターでは、認知症、高齢者虐待など、多様化、複雑化する相談に適切、迅速に対応するとともに、地域で潜在化している支援が必要な高齢者の実態の把握に努め、関係する社会的資源と連携しながら問題解決に取り組み、高齢者が住みなれた地域で自分らしい暮らしを続けることが可能となっています。

平成26年度の重点課題

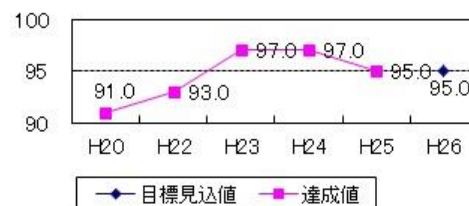
- 介護予防事業を推進します。
- 認知症への対応の取り組み強化を進めます。
- 包括支援センターの体制整備を図るとともに、拡充について検討を進めます。

施策の達成（実現）に向けた今後3カ年の取り組みと方針

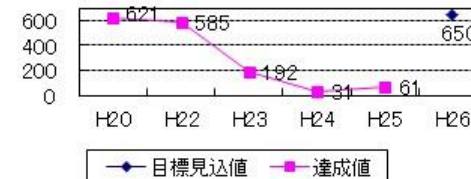
- 要支援認定者及び二次予防事業対象者（要支援・要介護状態に移行する可能性の高い方）に対する、介護予防サービスの利用や運動器、認知機能向上を目的として教室など、介護予防に努めます。
- 今後増加し、課題とされる「認知症」に対しては、介護予防施策として重点的に取り組み、認知症を理解して本人や家族を支える認知症サポーターの養成を実施するとともに、各種介護予防事業に携わるボランティアの育成・養成に努めます。
- いきいきサロンの活動を推進し、閉じこもり予防と地域で高齢者を支えるしくみを整備します。
- 地域において支援が必要な高齢者の早期発見、対応のため、民生委員児童委員やランチ（相談窓口）等の協力により実態把握に努めます。
- 包括支援センターの体制整備を進めるとともに、拡充について検討を進めます。

施策目標値の達成状況

特定高齢者の内、介護予防ケアマネジメントを受け、要介護状態に移行しなかった人の割合



介護予防事業参加者数(いきいきクラブ参加者実人員)



地域住民グループ支援事業(いきいきサロンの開設数)

